

みんなで作る園の未来!

保育ナビ

2026
JUNE
<3/12>

6

特集

自分らしく

保育する

パーソナルカラー診断と
骨格タイプ診断で
私らしさを活かす

学び合いが広がる!
園と小学校の交流実践
一時的な連携ではなく、
「共に育てる」連携にするために

0・1・2歳児
保育者のセンス・オブ・ワンダー
そんなことすると
虫歯見せちゃうからね!

くらしと食育
～感謝の気持ちが育つ喜びの食育～
食育に対する新しい提案

2026年度は、「子どもというワクワクが広がる！園がまちの『未来』になる」
をコンセプトに、内容をお届けします。

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。

マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

右の二次元コードからアクセスするか「保育ナビ」で検索してください。



保育ナビ

※ダウンロード期限は、2027年3月31日までです。

『保育ナビ』は、
編集委員が
サポートしています。

秋田喜代美（学習院大学）
浅井幸子（東京大学）
大方美香（大阪総合保育大学）
大豆生田啓友（玉川大学）
北野幸子（神戸大学大学院）
古賀松香（京都教育大学）
境 愛一郎（共立女子大学）
汐見稔幸（東京大学名誉教授）
砂上史子（千葉大学）
松井剛太（香川大学）
無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）
矢藤誠慈郎（保育のデザイン研究所）
敬称略 50音順

★編集委員から読者の皆さんへの
メッセージを月替わりで配信します。
詳しくはP.32へ！

『保育ナビ』が
伝えたいこと

子どもも大人も「自分らしく」 日々の保育もワクワクに

人には生まれもったそれぞれの「自分らしさ」があります。皆さんは自分らしく保育できていますか。6月号の特集では「自分らしさ」を表現する1つの方法として「パーソナルカラー診断」と「骨格タイプ診断」を取り上げました。年齢、性別、保育歴関係なく楽しめる内容になっています。保育の場が保育者の皆さんにとっても子どもたちにとっても「自分らしく」過ごせる場所でありますように。

——『保育ナビ』編集部

巻頭

フレーベルのこぼば 汐見稔幸 小西貴士

特集

自分らしく保育する

～パーソナルカラー診断と骨格タイプ診断で私らしさを活かす～ 4

大塚みのり



座談会

療育から築く、だれ一人取り残さない インクルーシブな未来

～ICTが拓く子育て支援の新たな可能性～ 14

桑戸真二（フレーベル館保育経営アドバイザー）
中村敏也（株式会社GENKI INNOVATION COMPANY
代表取締役）
小池義則（株式会社コドモン 代表取締役CEO）

園紹介

園のかたち 2026 … 20

めぐみ第二保育園（東京都府中市）

注目テーマ

ここに注目！ 「保育の質」を捉え直すための 12のキーワード … 24

秋田喜代美

学び合いが広がる！
園と小学校の交流実践 … 26

無藤 隆

試してみたら、これは便利！ 保育ICT活用術 … 28

田澤里喜

園の未来を握るリスペクト型マネジメント
少子化をチャンスに変える！
多機能化と地域共創 … 30

大豆生田啓友

編集委員に聞く
保育、ここがおもしろい！ … 32

北野幸子

保育内容

保育環境 今こそ、汚れを気にせず 思い切り遊ぼう！

～「しゅらみい」でワクワクする保育へ～ 34

磯部錦司

3・4・5歳児
遊びが育つ保育

一思考力に焦点を当てて … 36

河邊貴子

0・1・2歳児

保育者のセンス・オブ・ワンダー

～子どものみかた～ … 38

井桁容子

やってみよう！ 子どもの姿ベースの指導計画 … 40

大豆生田啓友 佐伯絵美

くらしと食育

～感謝の気持ちが育つ喜びの食育～

諏訪保育園が考える食育活動 … 44

島本一男

ルーティン業務から脱却！ 保育の“あたりまえ”見直し術 … 48

浅井拓久也

Information … 49

人材育成

職員が辞めない！ 脳科学でつくる「最高のチーム」 … 50

西 剛志

園のミドルリーダー育成講座 … 54

杉村基樹

国の動き

国の動きを読む！

研究者の目2026 … 56

矢藤誠慈郎

園経営

経営コンサルタントが提案する
変化する時代の経営戦略 … 58

桑戸真二 柳 修二

チャレンジの前の法律講座 … 60

木元有香

エッセイ

保育ナビエッセイ

わたしの子ども時代 … 62

丸山素直

特集

自分らしく 保育する

～ パーソナルカラー診断と
骨格タイプ診断で私らしさを活かす ～

人には生まれもった肌・瞳・髪の色や体の特徴を活かす
カラーやアイテムがあります。日々の生活に取り入れながら、
自分の魅力をアップしてみてもいいのではないでしょうか。

※本診断は簡易診断となります。園の皆さんで楽しくお使いください。

イラスト / miya



Contents

- Part 1 パーソナルカラー診断 … P.6
- Part 2 骨格タイプ診断 … P.12

監修 大塚みのり



プロフィール●大塚みのり（おおつかみのり）／都内区立保育園に14年勤務後、保育者養成講師を経て外見分析の分野へ転身。パーソナルカラー・骨格・顔タイプ診断を用いたトータルビューティーサロン「Harvest Color」を埼玉県川越市で運営。1000名以上の診断実績。一人ひとりの魅力を活かす提案を行っている。

パーソナルカラー診断・骨格タイプ診断とは

パーソナルカラー診断は、生まれもった肌・瞳・髪の色に調和する「自分に似合う色」を知るための診断です。自分自身に調和する似合う色を身につけると、顔色が明るく見え、魅力が引き立ち、第一印象にも良い影響を与えます。

骨格タイプ診断は生まれもった体の特徴から、「自分に似合うファッション&アイテム」を導き出します。骨格タイプに合ったファッション&アイテムを取り入れると、スタイルアップがかない、日々の服選びや小物選びに迷いがなくなります。

4 Seasons

早速やってみよう！

下記の4つの指マークの上にご自身の指を置いて背景色との調和を見てみましょう。なじんで見えたら「似合う」。浮いて見えたら「似合わない」。

Spring

Summer

Autumn

Winter

← 次ページでもっと詳しく診断してみましょう。

療育から築く、 だれ一人取り残さない インクルーシブな未来 ～ICTが拓く子育て支援の新たな可能性

本質を
見据える・

特別
座談会

少子化が進む中、園経営には地域に根ざした「選択と再構築」が求められています。本座談会では、保育と療育の連携を実践する中村さんと、ICTで現場を支える小池さんが登壇。DXやAIが保育者の専門性をどう支え、情報の分断をどう解消するのか。だれ一人取り残さないインクルーシブな未来に向け、園経営のスペシャリスト・桑戸先生の司会で経営の軸とテクノロジーの可能性を語り合います。(実施：2026年1月)

写真／渡辺 悟



桑戸真二先生
(フレーベル館
保育経営アドバイザー)

小池義則さん
(株式会社コドモン
代表取締役CEO)

中村敏也さん
(株式会社GENKI INNOVATION
COMPANY 代表取締役)

少子化時代の 「選択と再構築」

桑戸先生(以下、桑戸)…少子化の進行は、保育・幼児教育業界に不可逆的な変化をもたらしています。

かつての「待機児童解消のための規模拡大」というフェーズは終わり、経営者は今、「事業をどう深めるか」「地域にどう必要とされ続けるか」という「選択と再構築」の局面に立たされています。

本日は、保育と療育(児童発達支援)の多機能化を実践する中村敏也さんと、業界のDXを牽引する小池義則さんをお招きし、「経営判断の軸」と「テクノロジーの役割」について、本音の対話を展開します。

多機能化の原点…「事業拡大」 ではなく「地域の必要」に定める

桑戸…近年、多くの園が児童発達支援事業(多機能化)に関心を寄せています。しかし、制度の複雑さや収

支への不安から一步を踏み出せない経営者も多い。中村さんがこの分野に参入した「決断の軸」はどこにあったのでしょうか。

中村さん(以下、中村)…正直に言えば、私は「事業を拡大しよう」として始めたわけではありません。きっかけは、自園に通う保護者との対話の中がありました。

ある時、発達に課題を感じるお子さんの保護者に「療育施設に行ったほうがいいかもしれない」と伝えました。すると「うちの子は障害児じゃありません」と保護者を傷つけてしまったのです。

それで、実際に地域の療育施設を調べてみると、驚いたことに、当時、地域の療育施設は「母子通所(親子一緒)」が前提で、預かりを行う施設がほとんどなかったのです。保護者は「この子は発達課題があるかもしれない」と言われた瞬間、社会から疎外されたかのように感じたのではないかと思います。

「受け入れてもらえる場所がないんです」と保護者に言われて、保育園に通う家庭にとって当たり前「預けている間は働ける」という日常が、この親御さんたちには難しいことだと。そんな世界を知ったことで、母子分離での預かり型療育施設が必要だと感じたのです。

桑戸…そこで「やるしかない」と。

中村…はい。経営的な勝算よりも、「これをやらなければ、地域の家族が行き場を失う」という使命感が上回りました。開設の際には、涙を流して喜んでくれた保護者もいました。

また、同じ境遇の親同士がつながることができるコミュニティが生まれ、これが家庭の安定を生み、結果として子どもにも良い影響を与え始めたのです。私の判断軸は常に、「今、この地域に何が必要か」という問いにあります。

小池さん(以下、小池)…「地域にとっての価値」を起点にする考え方は、我々のようなテクノロジー企業にも

保育のあたり前を捉え直す

保育内容 INDEX

子どもという
ワクワクが
広がる!

保育実践の知識や考え方、発想、スキルなど、「保育のあたり前」を捉え直すうえで役立つ記事を掲載しています。気になる記事を園内で共有し、語り合い、試してみ、子どもというワクワクを広げていきましょう。

P.34

保育環境

今こそ、汚れを気にせず思い切り遊ぼう！
～「しゅらみい」でワクワクする保育へ

どろんこ遊び

P.36

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
－思考力に焦点を当てて－

モノの性質や仕組みに
気付きながら遊ぶ

P.38

0・1・2歳児

保育者のセンス・オブ・ワンダー
～子どものみかた～

そんなことすると虫歯
見せちゃうからね!

P.40

やってみよう!

子どもの姿ベースの指導計画

Aくんは積み木の何を
おもしろがっている?(4歳児編)

P.44

くらしと食育

～感謝の気持ちが育つ喜びの食育～
諏訪保育園が考える食育活動

食育に対する新しい提案
～子どもの声を大切にする
食事の環境づくり～

P.48

ルーティン業務から脱却!

保育の“あたりまえ”見直し術

「どう寝かせるか」から
「どう過ごすか」へ
変えてみませんか?

PICK UP!



今号では「どろんこ遊び」を取り上げ、泥にまみれて遊ぶ意義や子どもの姿の変化を紹介しながら、改めて汚れることや子どもの心を解放して遊ぶことの重要性を考えます。

PICK UP!



今年度は「くらしと食育」をテーマに年4回(6月号、9月号、12月号、3月号)掲載します。今号は、園における食育環境を見直すために必要な8つの視点について解説します。

今こそ、汚れを気にせず 思い切り遊ぼう!

～「しゅらみい」でワクワクする保育へ

砂遊び、どろんこ遊び、造形活動など、子どもが汚れながら遊び込むことの重要性と楽しさについて改めて提案するとともに、汚れを気にせず遊ぶ環境づくりを支援する着替えのレンタルサービス「しゅらみい」を活用した園の保育実践を紹介します。



監修・執筆 磯部 錦司
(椋山女学園大学)

今月のテーマ どろんこ遊び

どろんこになって遊び、「今、ここ、私」を感じる

これまで2回の連載で、砂遊びや絵の具遊びを例に、環境と一体化するように遊ぶことが、その子のアイデンティティの礎になり、将来の思考力や想像力、コミュニケーション力を培う基となっていくことについて考えてきました。今回は、どろんこ遊びに着目してみます。

泥にまみれて遊ぶ子どもたちの様子を見てみると、自分のストッパーが外れたように、そして自分の殻を破るように、子どもたちは一気に活動を広げていきます。泥を受容し、そこに心地よさを感じ、自分から主体的に環境（泥）や仲間にかかわっていきこうとする姿に出合います。「どろんこになって遊ぶ」ということは、「夢中になって遊ぶ」という意味であるということをお伝えできます。

そこでは、自発的で主体的な活動が泥によって生まれています。では

なぜ彼らは泥まみれになるとこんなにも生き生きと活動を続けていくのでしょうか。そこにはまずモノ（泥）への安心感が見られます。モノを全身で受容することによって、その場所が居場所となり、精神を開放させ、泥が信頼できる存在となっています。その安心感の上に活力が生まれ、喜びをもって遊ぶ姿が見られます。日常において、全身でダイナミックに他者にかかわる経験を創り出していくことはなかなか難しいですが、この遊びの中にはそれが見られます。

自分の存在を確かめ、他者（泥）を受容しながら、「自分は今、ここに生きている」と言わんばかりに遊び込んでいます。このような喜びをもって、他者を深く感じ、自分の存在を強くもち、「今、ここ、私」を全身で感じるような主体的な生き方や経験をこの時期に思い切り味わわせてあげたいと願わずにはいられません。こうした環境をつくることも、大人の重要な役割ではないでしょうか。

テーマ予定 4月号 砂遊び 5月号 アート活動 6月号 どろんこ遊び

保育現場の声から

「汚れてみたい」「やってみたい」と子どもが思う気持ちはいつの時代も変わりません。乳幼児期にふさわしい原体験を積み重ねていきたいと思います。



今回の実践園

学校法人くるみ学園
認定こども園
くるみこども園

理事長
戸巻 聖先生



控えめな性格のR君ですが、「ぼくもどろんこになりたい!」と顔まで泥だらけに。今は食育の活動にのめり込むなど、自分のやりたいことを自分で決めて取り組む姿があります。



「(汚れてもいい) 服が変わったことで子どもが泥遊びを好きになったみたいです」という保護者の声も。



「この服は汚していいんだよ、大丈夫だよ」と声をかけると、子どもたちの遊びはどンドンワイルドに。



どろんこ遊びが元々やりたい子ども、泥が苦手な子ども、それぞれのペースで泥と親しみました。

乳幼児期の原体験を 積み重ねていきたい

どろんこ遊びの後は、服を手洗いし、袋に入れて子どもに返す作業があります。例えば、5歳児クラスでは担任4人のうち2人が作業を担当しますが、午後2時に降園する子どもがいるので、保育者に余裕がありませんでした。「しゅらみい」を導入したのは、保育者の負担軽減と、負担軽減によりタイムリーに遊びを実施できれば、保育に良い効果があると考えたからです。

9月に1週間くらい導入したところ、最初は汚れることを気にしていたのが、全身泥まみれになるまで遊ぶ子どもが目に見えて増えました。遠慮をしなくていい楽しさを手にしたような印象です。子どもたちはそれまで無意識に汚れることにブレーキをかけていたのかもしれない。このようなどろんこ遊びの後、自分の気持ちを表に出し、自分のやりたいことを自分で決めて取り組む子どもの姿もありました。当園の理念「やってみよう!」の下、乳幼児期にふさわしい原体験を積み重ねていきたいと思えます。(戸巻理事長)

関連情報 のお知らせ

お着がえレンタルサービス「しゅらみい」の内容については二次元コードからご覧ください。



『保育ナビ』編集部からの お知らせ

公式サイトやSNSで保育最新情報をチェック!

『保育ナビ』は公式サイトやSNSでも様々な情報を配信しています。
より早く、より詳しい情報のためにぜひともチェックしてみてください。

[公式サイト](#)



[YouTube](#)



[Facebook](#)



[Instagram](#)



『保育ナビ』公式サイト URL 変更に伴うご注意

セキュリティ強化のため、公式サイト URL を以下の通り変更しています。

<https://hoiku-navi.froebel-kan.co.jp/>

2025年4月号以前の誌面やチラシ等に掲載されている URL につきましては、現在は弊社での運用を終了しており、一切関係がございません。現在、旧 URL にアクセスすると外部のサイトが表示される状況となっております。読者の皆様におかれましては、旧 URL へアクセスしたり、表示されたサイトで個人情報の入力等を行ったりしないよう、十分にご注意をお願いします。

保育ナビ

＼ 利用回数の縛りなし！必要な日だけレンタル！ /

お着がえレンタルサービス しゅらみいのご案内



しゅらみい[®]



特設ページはこちら！
動画も公開中！



しゅらみいの 子ども服リユースの取り組み が、環境省のモデル事業に選定されました！